

がっこう 動物新聞

2015年度 第2号 (通算第11号)

共同発行

一般社団法人 日本小動物獣医師会

公益社団法人



おしえてっ!

ごはんの話



みなさんの学校にいる動物たちはどんなごはんを食べていますか？ 私たちとは全く違うごはんを食べていますね。でも共通なものもあります。それは何でしょう？ 地球上で生きる生き物のほとんどが必要とするもの、それは『水』です。いつもきれいな飲み水を用意してあげてください。また、それぞれの動物に合ったごはんの種類と、ちょうど良い分量があります。どれも、動物が健康で長く生きられるように工夫されています。みなさんと同じように、動物たちも子どもの間は成長に必要なエネルギーがたくさん必要なので、おとなになってからと少し違ってきます。ごはんの内容や量は、動物の種類、年齢、動物の体調や置かれている環境によっていろいろと変わってきます。



1日2回、食器はいつもきれいに洗う、給水ボトルも忘れずに。ブラシやスポンジを使ってごしごし洗ってね。水は毎回きれいなものを。



残ったフードや野菜は捨てて新しいものをあげる。もったいないと思っても、食べ残しはNO！美味しくないし、体に良くないよ。与える量は、その子の年齢や季節によっても違うのでよく観察して決める。



アドバイス!

暑い時はお水を多く飲むかも。寒い時には食事を多めに調整。だんだん歳をとってくると食事の量が減ってくるよ。でも病気かもしれないので、獣医さんに相談してね。飼育日誌をつけておくと安心だよ。

注意!

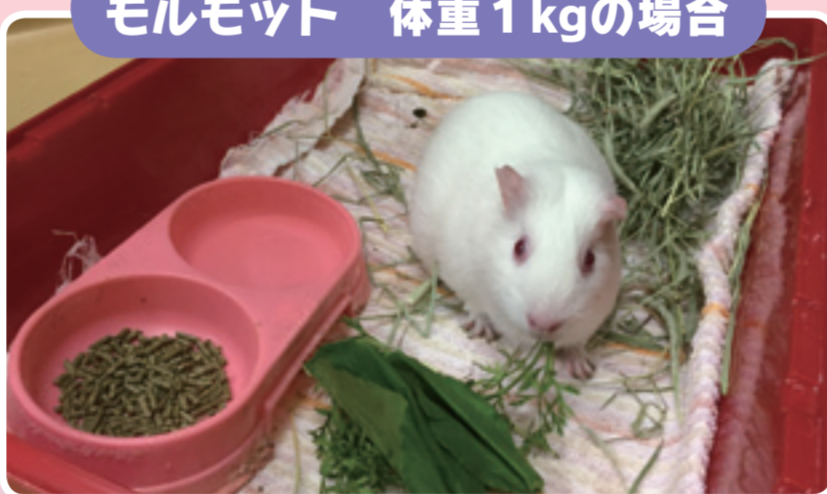
「食べさせてはいけないもの」に気を付けて。たとえば、パン、お菓子など。給食の残りも気を付けてね。

ウサギ 体重2kgの場合



ラビットフード／1日に30gくらい
(2回に分けて与える)
チモシー／食べられるだけ与える(無制限)
野菜／1日に1カップにはいるくらい

モルモット 体重1kgの場合



モルモットフード／1日20gくらい
(2回に分けて与える)
チモシー／食べられるだけ与える(無制限)
野菜／1日に15gくらい

ゴールデンハムスターの場合



ハムスターフード／1日5gくらい
(隠しちゃうので気を付けてね)
野菜／ほんの少し(ニンジン、キャベツ、ブロッコリー、菜の花など、ほんとに少し)
種子／ヒマワリの種はあんまりあげない



チモシーとは？

チモシーは牧草です。イネ科の植物で日本名を「オオアワガエリ」という草です。牧草地では刈り取って乾燥させて牛や馬やヤギのえさにします。完全な草食動物であるウサギやモルモットの歯は、「草を食べる」ために、生涯伸び続けて、草を噛んですりつぶせるようになっています。逆に言うと、草をたべさせないと、伸び続ける歯をあまり使わないので、どんどん伸びてしまい、食事が摂れなくなってしまいます。チモシーなどの牧草はとても大事なごはんということになります。

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでも近くの獣医師会にご相談ください。

連絡先

公益社団法人
新潟県獣医師会

〒950-0965 新潟市中央区新光町15番地2
(新潟県公社総合ビル)
TEL 025-284-9298